



# 広報施策の実施状況

令和4年4月  
政策統括官付

- ・ 令和3年12月21日に、バリアフリー・ナビプロジェクト推進の一環として、東京2020パラリンピック日本代表選手として活躍した網本麻里選手(車いすバスケットボール)と瀬立モニカ選手(パラカヌー)の二人をアンバサダーに任命
- ・ 読売新聞や朝日新聞、東洋経済などの主要新聞媒体等をはじめ、週刊アスキー、infoseek、グノシー等のIT系メディア、報知新聞等のスポーツ系メディア、女性向け生活情報誌など様々な分野の約50社に記事が掲載され、高いPR効果が期待。
- ・ 今後は、アイデアコンテストでの審査委員をはじめ、R4年度開催予定のシンポジウム特別ゲスト、スポーツイベントといった外部イベントでの発信やSNSやメディアにおける選手からの情報発信を期待。



(写真上左) 吉岡技監(中央)から、網本選手(左)と瀬立選手(右)に任命状を授与  
 (写真上右) 後列中央は「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」の坂村健委員長(東洋大学)  
 (写真右) 記事掲載例

スポーツ報知 150周年 注目 新型コロナ関連ニュース 報知SNS

北京2022 パラリンピック パラ日程・結果 コラム 評論家 写真特集 五輪結果

トップ > ニュース一覧 > 記事

瀬立モニカ「My way」を切りひらく…パリパラリンピック&医療の道「同時進行で」  
 2021年12月21日 18時9分 スポーツ報知

東京パラリンピックのカヌー女子カヤックシングル200メートル(運動機能障害K/L)

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

「10年後の歩行」アイデア募集…バリアフリーナビをパラリンピック選手がアピール

2021/12/24(金) 11:15 配信 0 0 0

Response.

国土交通省は12月22日、ICTを活用した歩行者移動支援事業である「バリアフリー・ナビプロジェクト」を推進する一環として東京2020パラリンピック日本代表選手として活躍した網本麻里選手と瀬立モニカ選手の2人をアンバサダーに任命した。

関連画像を見る

(写真: レスポンス)



## 学生向け、ユニバーサル利用の意識向上を狙ったアイデアコンテスト

### 【名称】 10年後の歩行者って？ アイデアコンテスト

#### 部門1: アイデア部門(バリアフリー、その他アイデア)

我々の暮らす社会における「10年後、20年後の歩行」のあるべきかたちを考え、それを実現するためにあるとよい「もの」や「しくみ」などのアイデアを募集。

※アイデアをエントリーシート形式で募集。通過者によるプレゼンをリモートで実施想定。

賞金 10万円～

#### 部門2: ネーミング & デザイン部門

10年後、20年後の歩行をよりよいものにしていく本活動の愛称(ネーミング)とデザイン(マーク)を募集します。ビジュアル案は、イメージアイコンのデザインやイメージキャラクターなども含みます。

採用された愛称やデザインは、今後、歩行空間ネットワークデータを活用したサービスやポスター、ステッカー等で使われる予定。

※審査について

国土省・委託業者で1次審査のうえ、委員会で最終選定実施



### アイデアコンテスト募集ポスター

サイト上のビジュアルだけでなくステッカーとして利用・配布実施するなどPRで活用予定



募集期間: 2021年12月21日

～2022年7月31日

応募サイトURL:

<https://www.mlit.go.jp/hokoucontest2021/>



広報施策の一環として下記取組を実施

①Twitterにおいて広報用の専用アカウント開設

アカウント名:

[バリアフリー・ナビプロジェクト@barrierfreenavi](https://twitter.com/barrierfreenavi)



②施策広報用HPの開設

URL: <https://www.barrierfreenavi.go.jp/>



③国交省Youtubeチャンネルへの動画掲載

・バリアフリー・ナビプロジェクト①～バリアフリー情報の整備について～

<https://youtu.be/bVMuyWsHhek>

・バリアフリー・ナビプロジェクト②～アンバサダー任命式・アンバサダーインタビュー～

<https://youtu.be/oM7AqKnY8zc>

・バリアフリー・ナビプロジェクト③～歩行空間における走行モビリティの紹介と歩行空間データ整備の重要性について～

<https://youtu.be/FWjxPw5er2E>

## ■歩行空間情報活用のエコシステム形成・普及促進

より一層の歩行空間情報利活用・普及促進を進めるため、継続的なウェブコンテンツの運営をはじめ、ニュースレターなどの広報活動を実施。また、アイデアコンテストの成果発表に加え、一般参加型の動画コンテスト、ロボット関連シンポ実施などについて、昨年任命のアンバサダー参画の下で開催し広く普及啓発を図る。

## ■シンポジウムでは、技術者・ビジネス層にも発信

特設サイトやメルマガ、SNS発信をベースとした広い広報活動に加えて、技術者・ビジネス層に向けた発信も行う。特に、ロボット実証にあわせて関連シンポジウムを開催。アンバサダー活用に加え、技術的な課題・可能性を討議する内容やビジネスプレーヤーに向けた展開を実施。メディアなども巻き込み話題性を作る。また技術者向けの専門性高い読み物コンテンツとして、ASCII記事の展開やニュースレター配信でメディアアプローチを高める。

## ■アイデアコンテストや歩行空間映画祭の開催

アイデアコンテストでは、ビジネスアイデア領域や、ビジュアル部門でのコンテンツ領域双方で効果的なアイデア募集を実施する。また新規開催する映像コンテストでは、SNSの特性を生かして、本事業の周知拡散を高める。

アイデアコンテストに続く形で、一般ユーザーへのさらなる普及啓発を目的にした映像のコンテストを開催する予定。公開投稿前提とし、動画SNS(YouTubeショート動画やTiktokなど)を利用して、特定テーマでハッシュタグ付きの動画の投稿を促す。

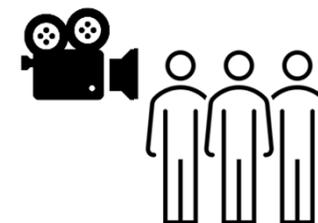
## ■実施内容(案)

- ・テーマ案: 歩くところ カルチャー、課題、路上観察、バリアフリーなど多様な目的を歓迎
- ・一般部門のほか、1分未満のショート動画部門も含めて、夏休み期間に募集実施、企業協賛も含め価値を高める。

## ■ねらい(マスコミュニティへ)

応募動画は、SNSやサイトでも紹介し、情報発信を継続

テレビ・新聞・雑誌・SNSとの組み合わせで、特定の興味・関心を持つ集団に関連した情報発信を意識



## ■参考

内閣府 クールジャパンコンテスト(<https://cj2021.go.jp/>)  
海外に向けて、日本の魅力動画を募集したコンテスト

自動走行ロボットなどのテーマを含め、技術者・ビジネス関係者も巻き込んだシンポジウムイベントを実施予定。PR側面以外に、ビジネスやバリアフリー関連での「歩行空間」の可能性を紐解くシンポジウムを想定。

## ■実施目的・時期(案)

- ・実施目的: バリアフリー・ナビプロジェクトの認知度向上を目的に、ビジネス層・技術者層・バリアフリー関係者を交えて、歩行空間データの利用や将来の技術的な討議してイベント自体のPRを行なう。
- ・時 期: 秋頃に開催予定。コロナ感染状況を踏まえて、リアル開催またはオンライン開催。

## ■候補(案):

- ・アンバサダー(瀬立モニカ選手、網本麻里選手)
- ・学識経験者
- ・技術関係・ビジネス関連プレイヤー
- ・IT関連企業
- ・ロボット関連企業
- ・ユーザー
- ・その他

